

# 意見交換



# 北海道のデータ利活用を進めるためには？



官民で機械判読可能なデータの公開を  
増やしていかなければならない



**官**民で機械判読可能なデータの公開を増やしていかなければならない



**官**民で機械判読可能なデータの公開を  
増やしていかなければならない

特に行政の持つデータは膨大であり、  
これを使いやすくすることで、  
地域課題解決、経済活性化に繋がる



**官**民で機械判読可能なデータの公開を  
増やしていかなければならない

しかも今すぐできる



**官**民で機械判読可能なデータの公開を  
増やしていかなければならない

~~しかも今すぐできる~~

現実には  
なかなか進まない

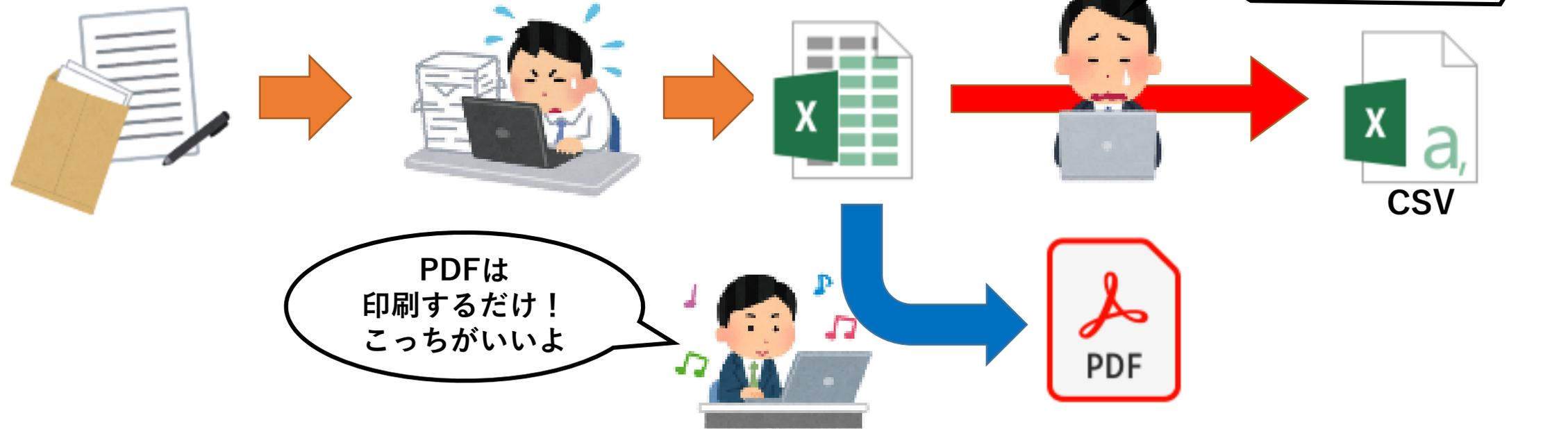


## 現状

### 第1回WG会議の資料から

現状の仕組みでは、機械判読可能なデータを前提にしていなかったため、作成・公開に手間がかかる

多くの場合、紙やPDF等で提出された書類をExcelで管理



作成するのが楽なPDFで公開されるのは必然

## 疑問

機械判読可能なデータを公開したら  
民間は活用するのか？



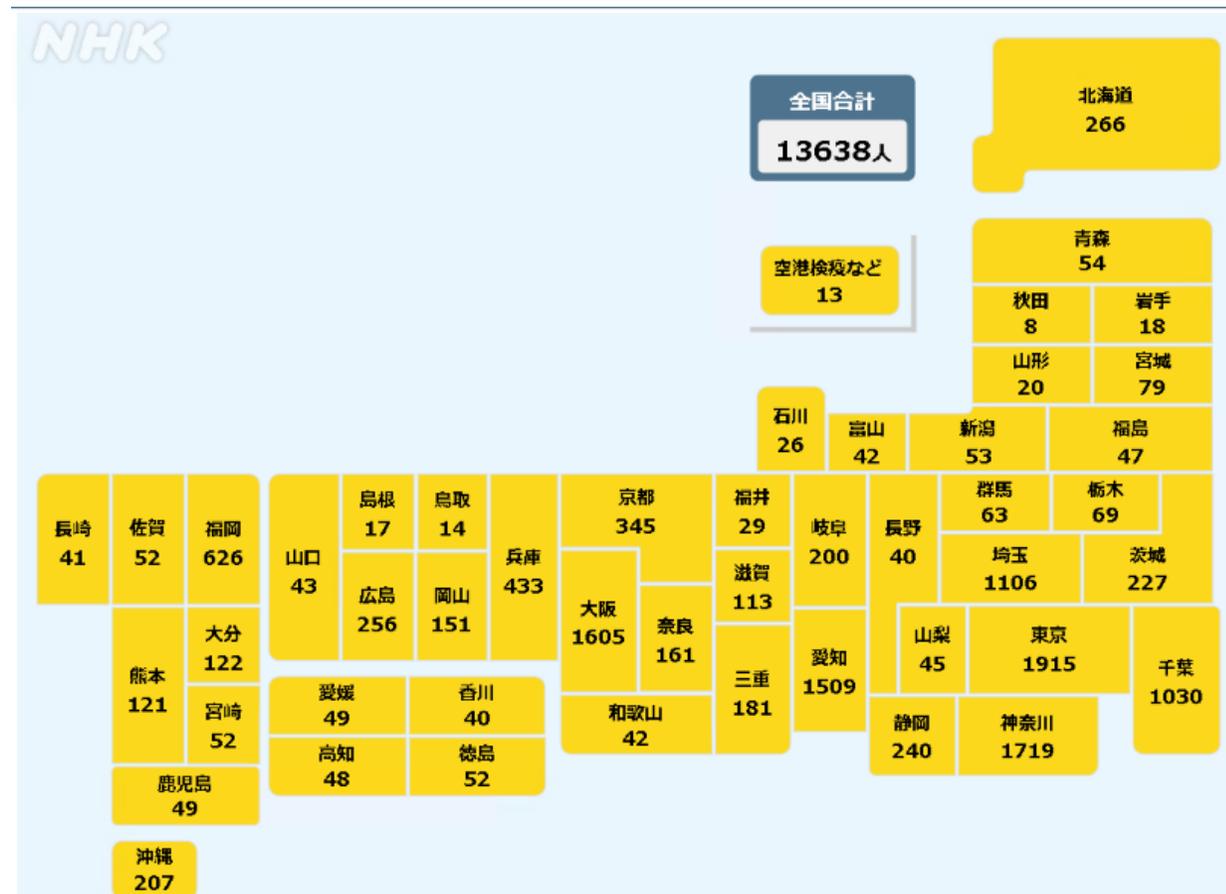
# 全国の新型コロナウイルス対策サイトで 確認してみる

※東京都が作成した「新型コロナウイルス感染症対策サイト」を  
フォークし全都道府県で公式や民間有志で作成された





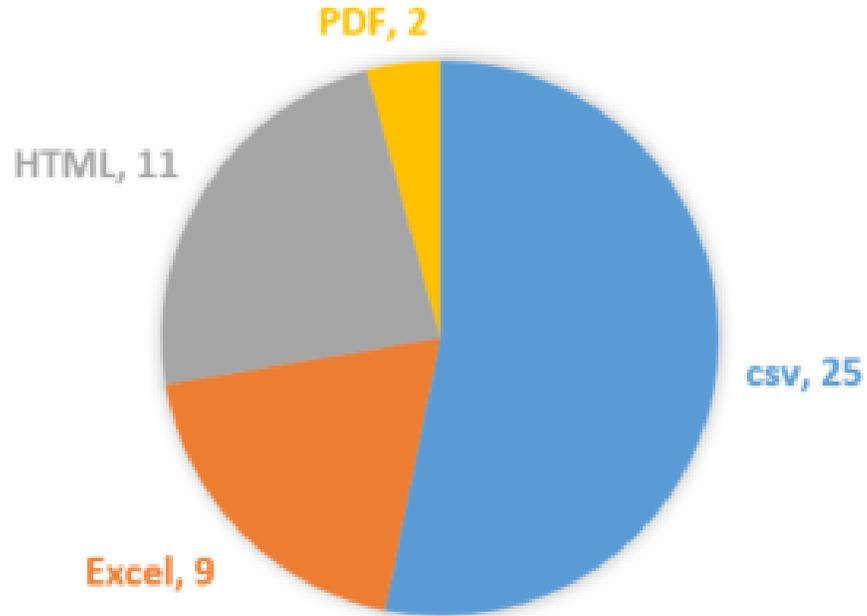
都道府県が公開している  
データフォーマットによって  
対策サイトが継続しているか？



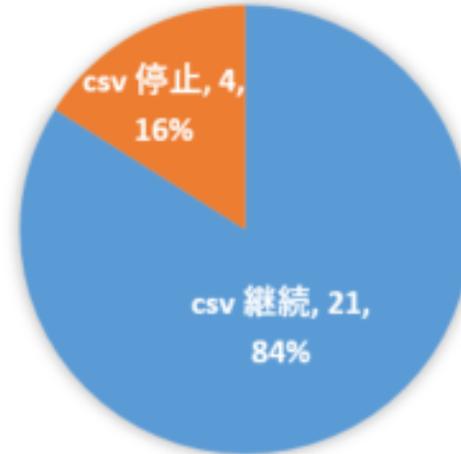
出典：NHK 特設サイト 新型コロナウイルス  
(2021年8月30日の状況)



## データフォーマット別のサイト継続数



機械判読容易



CSV



Excel

## 新型コロナデータのフォーマット別都道府県数

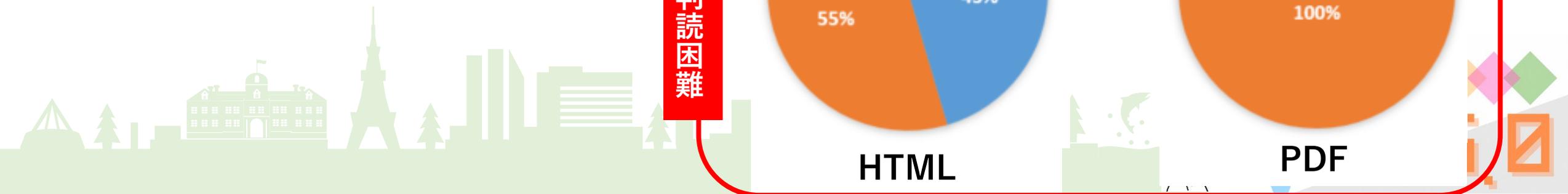
機械判読困難



HTML



PDF



機械判読可能なデータを公開することで  
継続的に利用されることが多そう



## そのほかのオープンデータ活用事例

### 給付金情報の活用（Zaim）

The screenshot shows the Zaim website interface. At the top, there is a navigation bar with the Zaim logo, a green button for 'ユーザー登録' (User Registration), and icons for 'ログイン' (Login), '使い方' (Usage), and 'お金の便利帳' (Money Convenience Book). Below the navigation bar, the breadcrumb trail reads '家計簿 Zaim > お金の便利帳 > わたしの給付金'. The main content area features a large orange banner with the text '受給対象かどうかをチェック！ わたしの給付金' (Check if you are eligible for subsidies! My subsidies). A yellow starburst graphic on the banner says '全国の市町村に対応' (Supports all municipalities nationwide). To the right of the banner is a large white outline of a hand holding a heart. Below the banner, there is a paragraph of text: '住んでいる地域や世帯構成、家計簿の記録から「あなたがもらえる可能性がある給付金や手当・控除」を割り出します。意外に知られていない地方自治体の給付金なども簡単にチェック。無料でご利用いただけます。' (We identify subsidies and allowances/deductions that you may be eligible for based on your living area, household composition, and household record. We also easily check subsidies from local governments that you may not know about. Free of charge.) At the bottom left, there is a small asterisk note: '\* 基本無料でご利用いただけますが、プロフィールに合致する可能性がある地方自治体の給付金の自動抽出にはプレミアム会員登録が必要です。また支出カテゴリを大幅にカスタマイズされている場合、正しく抽出されない給付金があります' (While it is basically free of charge, premium membership registration is required for automatic extraction of subsidies from local governments that match your profile. Also, in cases where you have significantly customized your spending categories, some subsidies may not be extracted correctly.)

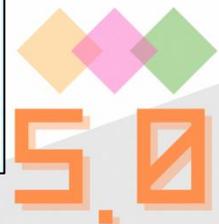
## そのほかのオープンデータ活用事例

### 台湾におけるマスクマップ



そのほかのオープンデータ活用事例

## バスデータ（GTFS）の利用



まずは行政が機械判読可能なデータを  
増やすことで  
データ利活用が活性化されるのでは無いか



機械判読可能な行政データを増やす

民間のニーズを踏まえたデータ整備

官民データ利活用の促進

北海道を日本の  
データ活用先進地にする！！

## 第1回ワーキングでの議論

国や自治体のオープンデータが探しづらい

APIがベストだがハードルが高い

行政のデータの一番のユーザーが行政の方々となり、一番メリットを得るようになるべき

使われることへの拒否感がオープンデータが進まない理由の一つ

コミュニケーション不足。行政は親切でPDFで公開しているのかもしれない

道庁のデータをきちんと整理し、棚卸し、リスト化することが大事

民間もオープンデータの仕組みに乗って、データを公開することで、新しいサービスが生まれる場を作る



## 第1回ワーキングでの議論

国や自治体のオープンデータが探しづらい

APIがベストだがハードルが高い

行政のデータの一番のユーザーが行政の方々となり、一番メリットを得るようになるべき

使われることへの拒否感がオープンデータが進まない理由の一つ

コミュニケーション不足。行政は親切でPDFで公開しているのかもしれない

道庁のデータをきちんと整理し、棚卸し、リスト化することが大事

民間もオープンデータの仕組みに乗って、データを公開することで、新しいサービスが生まれる場を作る



R4事業計画へ反映

